

トリエンナーレの時代

国際芸術祭は何を問いかけているのか [前編]



社会研究部 主席研究員・芸術文化プロジェクト室長 吉本 光宏

mitch@nli-research.co.jp



よしもと・みつひろ

89年ニッセイ基礎研究所。

東京藝術大学大学院 (2012- / 2000-09) および

青山学院大学大学院 (2010-) 非常勤講師。

文化庁文化審議会文化政策部会委員 (2014- / 2004-11) 他多数。

1——全国に広がるトリエンナーレ

瀬戸内国際芸術祭2013、あいちトリエンナーレ2013、十和田奥入瀬芸術祭、神戸ビエンナーレ2013、中之条ビエンナーレ2013。昨年、全国各地で開催されたトリエンナーレ、ビエンナーレ形式の大規模な芸術祭である。今年も、5月上旬に終了した中房総国際芸術祭をはじめ、夏にはヨコハマトリエンナーレ2014、札幌国際芸術祭2014、そして秋には国東半島芸術祭も開催予定だ。

トリエンナーレは3年に1回、ビエンナーレは2年に1回開催される国際美術展・芸術祭で（以下本稿では「トリエンナーレ」と表記）、海外ではヴェネチア、ドクメンタ（独カッセル）、リヨン、リバプール、サンパウロ、イスタンブール、光州、広州、台北、シンガポール等の例が知られる。

しかし、これほど多くの大規模かつ多様なトリエンナーレが開催されている国は日本をおいて他にないのではないかと。しかもほとんどが2000年以降に創設されたものである。本稿では2回に分けて、国内外の開催状況や日本の代表例を紹介しながら、トリエンナーレの意味や社会的な役割を考察した。

1 | 世界の開催状況と歴史

トリエンナーレについて、比較的信頼性が高いと思われるポータルサイトのひとつBiennial Foundationによれば、現在、世界各国で144件のトリエンナーレが開催されている。国別の件数は図表1のとおりで、日本は4番目に多い。ただしこのサイトに掲載されていないものも含める

と日本は18件で [図表2]、世界で最もトリエンナーレの盛んな国のひとつであることは間違いない。

[図表1] 国別トリエンナーレ開催件数

資料：Biennial FoundationのHP情報に基づいて5件以上の国を掲載

米国	13	ドイツ	6
英国	10	韓国	5
中国	8	フランス	5
日本	7	——	——

海外の主要なトリエンナーレ約20件をピックアップし、国内のものとおわせて開催地、最近の開始年と今後の開催予定を図表2に整理した。

最も歴史が古いのは1895年に始まったヴェネチア・ビエンナーレで120年近い歴史がある。その後、サンパウロ、ドクメンタなどが1950年前後に始まっているが、各国のトリエンナーレも90年以降に創設されたものが多い。

2 | 日本の開催状況

日本でも1952年から日本国際美術展（東京ビエンナーレ）が2年ごとに開催されていた。これはアジアで初めてのビエンナーレ形式の国際展だったが、90年に終了している。15回のうち70年の第10回展は日本の美術史に大きな足跡を残すものだった。美術評論家の仲原佑介をコミッショナーに迎え「物質と人間」をテーマに70年代の国内外の重要な美術動向を包括した国際展で、観覧会の入場者に「これがなぜ芸術か」という衝撃を与えたという。

現在日本で開催中あるいは今後開催予定のトリエンナーレは図表2に示したとおりである。トリエンナーレ・ブームとも呼べる現在の状況を生み出したのは、2000年に始まった大地の芸術祭と翌年

にスタートしたヨコハマトリエンナーレの二つであろう。

日本のトリエンナーレは、農山村や離島で開催される「里山型」と「大都市型」に大きく分けられるが、それぞれこの二つが起点となっている。前者には十和田奥入瀬芸術祭、中之条ビエンナーレ、瀬戸内国際芸術祭、国東半島芸術祭などが、後者には札幌国際芸術祭、あいちトリエンナーレ、北九州国際ビエンナーレなどが含まれる。

もっとも、新潟市の水と土の芸術祭は、大都市型でありながら水と土をテーマに広域展開することで里山型の要素を兼ね備えている。また、別府現代芸術フェスティバル混浴温泉世界や中房総国際芸術祭いちばらアート×ミックスは、どちらかに分類することは難しいが、地域の特性や文脈に基づいた展開が特徴となっている。

2——日本の主要なトリエンナーレ

1 | あいちトリエンナーレ2013

——災後の日本、不確かな世界を考える

大都市型の代表例が昨年のあいちトリエンナーレである。「揺れる大地——われわれはどこに立っているのか：場所、記憶、そして復活」というテーマが示すとおり、東日本大震災や原発事故が強く意識されたものだった。しかしそれはテーマの一部に過ぎない。芸術監督の五十嵐太郎は「我々が立つ場所やアイデンティティが揺らんでいる危機的な状況」という広い意味で「揺れる大地」というテーマを掲げた。

メイン会場となった愛知芸術文化センターの中で異彩を放っていた作品は、地下2階から地上10階までを使った宮本佳明

[図表2] 国内外の主なビエンナーレ、トリエンナーレの開催状況

資料：各トリエンナーレなどのHP掲載情報等に基づいて作成。

名称 開催地	第1回開催年	1890	1900	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
国内																														
東京ビエンナーレ(日本国際美術展) 東京都	1952																													
白州・夏・フェスティバル 白州アートキャンプ 山梨県	1988																													
福岡アジア美術ビエンナーレ* 福岡市	1999											2	3	4	5															
大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ* 新潟県十日町市、津南町	2000								1	2	3	4	5	6	7															
ヨコハマトリエンナーレ* 横浜市	2001								1	2	3	4	5	6	7															
BIWAKOビエンナーレ 滋賀県近江市	2002								1	2	3	4	5	6	7	8	9													
岐阜おおがきビエンナーレ 岐阜県大垣市	2004										1	2	3	4	5	6	7	8	9											
中之条ビエンナーレ 群馬県中之条町	2007														1	2	3	4	5	6	7									
神戸ビエンナーレ* 神戸市	2007															1	2	3	4	5	6	7								
北九州国際ビエンナーレ 北九州市	2007															1	2	3	4	5	6	7								
開港都市にいがた 水と土の芸術祭 新潟市	2009																1	2	3	4										
別府現代芸術フェスティバル 混浴温泉世界 大分県別府市	2009																1	2	3	4										
あいちトリエンナーレ* 名古屋市、岡崎市	2010																	1	2	3	4									
瀬戸内国際芸術祭* 香川県直島、小豆島、高松市等	2010																	1	2	3	4									
西宮船坂ビエンナーレ 兵庫県西宮市	2011																		1	2	3	4	5							
十和田奥入瀬芸術祭 青森県十和田市	2013																				1									
国東半島芸術祭 大分県豊後高田市、国東市	2013																					1								
札幌国際芸術祭* 札幌市	2014																						1	2	3					
中房総国際芸術祭いちはらアート×ミックス 中房総エリア	2014																						1							
京都国際現代芸術祭 京都市	2015																							1						
海外																														
ヴェネチア・ビエンナーレ イタリア・ヴェネチア	1895								49	50	51	52	53	54	55	56	57	58												
カーネギー・インターナショナル 米国・ピッツバーグ	1896																													
サンパウロ・ビエンナーレ ブラジル・サンパウロ	1951										25	26	27	28	29	30	31	32	33	34										
ドクメンタ ドイツ・カッセル	1955										11		12		13		14													
シドニー・ビエンナーレ オーストラリア・シドニー	1973										13	14	15	16	17	18	19	20	21	22										
ミュンスター彫刻プロジェクト ドイツ・ミュンスター	1977												4								5									
バン格拉デシュ・アジア・アートビエンナーレ バン格拉デシュ・ダッカ	1981									10	11	12	13	14	15	16	17	18	19											
ハバナ・ビエンナーレ キューバ・ハバナ	1984									7	8	9	10	11	12	13	14	15												
イスタンブール・ビエンナーレ トルコ・イスタンブール	1987									7	8	9	10	11	12	13	14	15	16											
リヨン・ビエンナーレ フランス・リヨン	1991									5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15										
ダカール アフリカ現代美術ビエンナーレ セネガル・ダカール	1992									4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14										
シャルジャ・ビエンナーレ アラブ首長国連邦・シャルジャ	1993									5	6	7	8	9	10	11	12	13	14											
光州トリエンナーレ 韓国・光州	1995									3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13										
上海ビエンナーレ 中国・上海	1996									3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13										
台北ビエンナーレ 台湾・台北	1998									2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12										
モントリオール・ビエンナーレ カナダ・モントリオール	1998									2	3	4	5	6	7	8	9	10	11											
リバプール・ビエンナーレ 英国・リバプール	1999										2	3	4	5	6	7	8	9	10	11										
釜山ビエンナーレ 韓国・釜山	2002										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
広州トリエンナーレ 中国・広州	2002										1	2	3	4	5	6														
マラケシュ・ビエンナーレ モロッコ・マラケシュ	2005											1	2	3	4	5	6	7	7											
シンガポール・ビエンナーレ シンガポール	2006													1	2	3	4	5	6	7										

*印はBiennial Foundationのサイトに掲載されている国内のトリエンナーレで図表1の一覧表に含まれているもの。
各年の数字は開催回数で、実施分は白抜きで、今後の実施予定については、定期的開催された場合を想定して記入した。

の『福島第一さかえ原発』である。1階エントランスには炉心と思われる平面図が黄色いテープで描かれ、8階展示室には壊れた建屋の一部が再現された。センター全体の空間を使って福島第一原発を原寸大で再現し、その大きさを実感してもらおうという試みだ。実際、映像や写真でしか知らない原発の巨大さには圧倒される。

あいちトリエンナーレではまちなか展開も重視している。岡崎シビコという営業中のショッピングセンターでは、テナン

トの撤退した5階から屋上までの3フロアに作品が展示された。5階は向井山朋子とジャン・カルマンの『FALLING』。うすたかく積み上げられたおびただしい数の新聞紙や壊れたピアノの展示に息をのむ。6階は岡崎市出身の写真家、志賀理江子の『螺旋海岸』。2009年から活動の拠点を宮城県名取市に移し、東日本大震災で甚大な被害を受けた北釜地区を撮り続けた写真群である。屋上は、建築家ユニット栗原健太郎と岩月美穂のstudio velocity

によって真っ白に塗り替えられ、グリッド状に張り巡らされた無数の糸が空に漂う『roof』という作品だ。

かつて市内有数の商業施設だった岡崎シビコは、全盛期には人で溢れかえったという。今も営業を続けるがその頃の面影はない。そうしたビル固有の歴史と、そこに設置された作品群がトリエンナーレのテーマとつながり、社会の仕組みが大きく揺らいでいることが印象づけられた。

【7月号に続く】→